



3

真実の礼拝とは？

霊と真理による礼拝とは？

鍵は、大祭司イエス

4



5

王であり 祭司である 主イエス・キリスト

- ①メルキゼデクが影として示したのは、王、祭司であるメシア
- ②メシアは、十字架の死と復活の贖いの御業を成就し、昇天。
神の右の座で**大祭司**として私たちの祈りをとりなされている。
- ③メシアは、主の日、全地を裁き、神の国を建てられる。
永遠の大祭司、永遠の王として、全地と全信者を治められる。

ほめたたえるべきは、永遠の王・祭司である主イエス

6



7

①神が保証 優れた希望 7:18～19

一方で、前の戒めは、弱く無益なために廃止され、一 律法は何も全うしなかったのです — もう一方では、もっとすぐれた希望が導き入れられました。これによって私たちは神に近づくのです。

*律法
*新しい契約

シナイ山

8

①神が保証 神による祭司 7:20～21a

また、神による誓いなしではありません。レビの子らの場合は、神による誓いなしに祭司となっていますが、この方は、ご自分に対して言われた神の誓いによって祭司となりました。

■真の大祭司イエスは、永遠に神が保証。

シナイ山

9

①神が保証 神による祭司 7:21b

「主は誓われた。思い直されることはない。『あなたはとこしえに祭司である。』」

*詩編110:4「【主】は誓われた。思い直されることはない。「あなたはメルキゼデクの例に倣い とこしえに祭司である」

■主イエスは、主が立てられた永遠の祭司。

シナイ山

10

①神が保証 優れた契約 ヘブル7:22

その分、イエスは、**もっとすぐれた契約**の保証となられたのです。

■**新しい契約**の保証は、メシアご自身。

➡神が誓い、神が立てられた



シナイ山

11



②永遠の祭司

ヘブル人への手紙7章23～26節

シナイ山

12

②永遠の祭司 永遠の祭司 7:23～24

また、レビの子らの場合は、死ということがあるために、務めにいつまでもとどまることができず、大勢の者が祭司となっていますが、**イエスは永遠に存在されるので、変わることがない祭司職**を持っておられます。

■罪ある人間の祭司は、有限。

■神の子イエス・真の大祭司は、永遠。



シナイ山

13

②永遠の祭司 完全なとりなし 7:25

したがってイエスは、いつも生きていて、彼らのために**とりなし**をしておられるので、**ご自分によって神に近づく人々を完全に救うことがおできになります。**

■祭司は、神と人とのとりなし手。

■永遠の神の大祭司である主イエスは、神と人との完全な取りなし手。

➡完全な救い(一度きり・永遠)



シナイ山

14

②永遠の祭司 唯一の大祭司 7:26

このような方、敬虔で、悪も汚れもなく、罪人から離され、また天よりも高く上げられた大祭司*こそ、私たちにとってまさに必要な方です。

*大祭司イエスに唯一無二の特徴



15



③ただ一度の完全な犠牲 ヘブル7章27～28節

16

③完全な犠牲 ただ一度 ヘブル7:27

イエスは、ほかの大祭司たちのように、まず自分の罪のために、次に民の罪のために、毎日いけにえを献げる必要はありません。イエスは自分自身を献げ、ただ一度でそのことを成し遂げられたからです。

■人間の祭司は、自分自身の犠牲が必要。

➡自分と民のために毎日犠牲をささげた



17

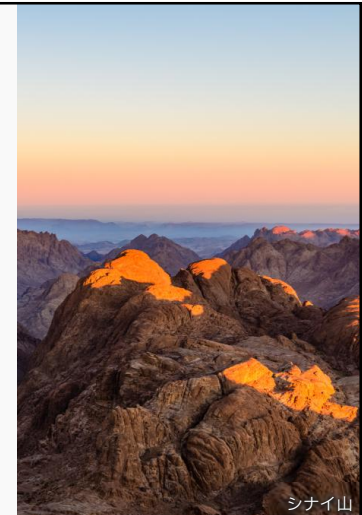
③完全な犠牲 誓いの御言葉 7:28

律法は、弱さを持つ人間たちを大祭司に立てますが、律法の後から来た誓いのみことば*は、永遠に完全な者とされた御子*を立てるのです。

*メシアが結んだ、新しい契約

(キリストの律法)

*栄光の主イエスは、永遠の完全な存在



18



19

まとめ・祭司	レビの祭司	大祭司イエス
罪	罪がある	罪はない
任期	生きている間	永遠
とりなし	部分的	完全
神の誓い(保証)	ない	ある
基づく契約(法)	シナイ契約 (律法)	新しい契約 (キリストの律法)
犠牲の頻度	毎日	一度きり

20

礼拝への適用	過去	現在
大祭司	レビ人(アロンの系)	主イエス・キリスト
犠牲の動物	必要	不要
とりなしの質	限定的	完全
とりなしの効力	一時的	永遠
従う契約(法)	シナイ契約 (律法)	新しい契約 (キリストの律法)
礼拝の場	神殿(幕屋)	個々の信者が宮 教会(信者の集まり)

21

礼拝への適用	御霊と真理による礼拝
「しかし、まことの礼拝者たちが、御霊と真理によって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はそのような人たちを、ご自分を礼拝する者として求めておられるのです。 神は霊ですから、神を礼拝する人は、御霊と真理によって礼拝しなければなりません。ヨハネ福音書4:23～24」 ■ 聖霊に満たされ、真理なる主イエスを通し、父なる神を礼拝。 ➡きよめられた自分自身を主にささげる礼拝者として!!	
ささげた私を主が受けられる この恵みを味わい知ろう	

22

祈りへの適用 イエスが大祭司であるとは？

- 律法時代、礼拝に犠牲が必要。贖いは一時。とりなしは限定的。
- 主イエスが、一度きりの完全な贖いを成し遂げられた。
- 犠牲は不要。永遠の大祭司イエスが完全にとりなしてくださる。
 - ➡ 罪も過ちも欠けも、主イエスが補って、父にとりなされる。
 - ➡ 主イエスを通して、どんなことでも主に祈ることができる。

安心して祈ろう 祈るほどに与えられる平安がある

23

★ 主のとりなしに委ねて祈ろう ★

- 永遠の大祭司イエスが、完全なとりなしをしてくださる。主イエスを通し、父なる神に、自由に祈る恵みが与えられている。
- 御子の一度きりの贖いをただ信じて、きよめられた自分自身を、主は喜んで受けとられる。この真実の礼拝を喜ぼう。

大祭司イエスに委ねて、祈り、ささげよう!!

24

てん とつ わたし つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

わたし かみ こ しゅ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

わたし つみ あがな じゅうじか し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

わたし しゅ め かみ みぎ
私は、主の目にきよいものとされました。

わたしじしん しゅ みたま しんり れいはい
私自身を主におささげします。御霊と真理の礼拝をおささげします。

しゅ みや みたま しゅ しょうにん つか
主の宮として御霊で満たし、主の証人として遣わしてください。

かんしゃ しゅ な いの
感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」

25